

# 令和4年度 「（仮称）福知山市エネルギー・環境基本計画」策定業務仕様書

産業政策部エネルギー・環境戦略課

1 業務名 「（仮称）福知山市エネルギー・環境基本計画」策定業務

2 業務場所 福知山市 内記地内

3 履行期間 契約締結日から令和5年3月31日まで

## 4 業務目的

本市における環境の保全及び共生、エネルギーに関する施策について、総合的かつ計画的な推進を図るために、本市の総合的な市政運営の基本的指針「まちづくり構想 福知山」や持続可能な開発目標（SDGs）、国の第5次環境基本計画等の方針を踏まえ「（仮称）福知山市エネルギー・環境基本計画」の策定を行う。なお、本計画は、改正地球温暖化対策推進法（以下、「改正温対法」という。）第21条の規定に基づき、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を包含するものとする。

本業務では改正温対法に記載される地域の再エネを活用した脱炭素化を促進する事業（地域脱炭素化促進事業）に係る「促進区域」を設置するとともに、域内の経済循環を促すために本市の地域新電力を活用した再エネの導入、推進に向けた戦略を策定する。

※本計画の策定においては、令和3年度に実施した「福知山市エネルギー・環境アドバイザー業務（別紙参照）」を引継ぎ、その成果を反映するものとする。

## 5 委託内容

### （1）現状等の把握及び課題の抽出

本市のエネルギー、環境に関する調査を行い、令和3年度に実施した「福知山市エネルギー・環境アドバイザー業務」の内容を踏まえて情報の整理、収集等現状把握及び課題の抽出を行うとともに、他市・先進地事例等の調査を行うこと。

### （2）「地球温暖化対策推進法」に記載される地域の再エネを活用した脱炭素化を促進する事業（地域脱炭素化促進事業）及び「促進区域」の検討

国や府が設定する環境配慮のルール及び市内の環境保全等の規制区域などを踏まえて、再エネを促進する区域を設定する。

### （3）市域における再エネ導入の促進方策と導入効果の検討

令和3年度業務にて検討した温室効果ガスの削減目標に対して、それを達成するために再エネ導入や利活用を促進させる方策を検討する。検討された促進策毎に対して、温室効果ガス排出量の削減効果や経済波及効果などを推計する。

### （4）促進方策の実現可能性の検討

前項で検討された促進方策について、実施する上での体制や経済的な側面などの課題を抽出し、2030年度までに実行するための解決策及びロードマップを整理する。

#### (5) 市内のエネルギー政策に関する全体像（エネルギービジョン）の作成

前項で整理した促進策などの検討結果を踏まえ、市が考える市域のエネルギー政策全体について体系的に整理するとともに、広く市民に周知するための全体像（イメージ図等）を作成する。

#### (6) 各種会議等への参加・運営支援

本業務に付随して開催する各種会議（関係団体や関係機関との会議、環境審議会、庁内会議、地元説明、議会説明）等において市が求めた場合に参加・運営支援を行うとともに、計画への反映、会議報告書の作成を行う。

#### (7) 計画策定

令和3年度に実施した「福知山市エネルギー・環境アドバイザリー業務」及び本委託業務で実施した内容を踏まえた上で計画の策定を行う。尚、計画書については以下の期日を目途に市に納品すること。

計画書	期日
計画書 <b>素案</b>	令和4年 9月中旬
計画書 <b>修正案</b> ※パブリックコメントを踏まえた計画	令和4年 11月中旬
計画書 <b>最終案</b>	令和5年 1月下旬

※納期については各業務の進捗状況等に応じて市と協議の上、調整を図ることとする。

#### (8) パブリックコメントの意見集約、公表の支援

パブリックコメントで出た意見の集約及び対応方針についての支援を行う。尚、パブリックコメントについては、令和4年10月～11月に予定する。

#### (9) 計画書・概要書・チラシの作成

計画書本編と概要版を作成する。また、市民への普及啓発用の資料として概要をまとめたチラシを作成する。概要版やチラシについてはイラストや写真を使用し、わかりやすいものとする。

#### (10) 脱炭素先行地域への応募支援

「地域脱炭素ロードマップ」（2021年6月9日 国・地方脱炭素実現会議決定）及び「地球温暖化対策計画」（2021年10月22日 閣議決定）で示された脱炭素先行地域への応募に向けて本市に対して計画の提案を行うとともに、市が脱炭素先行地域への応募を行う際には提出資料の作成支援を行う。

#### (11) その他エネルギー・環境関連事業に関するアドバイザリー

本市が進めるエネルギー・環境関連事業に関する相談へのアドバイス・支援を行う。

#### (12) 中間とりまとめ

年内に2回（8月及び11月）に中間とりまとめを行い方向性や内容の確認を行うとともに進捗状況について市に文書にて報告する。

#### (13) 打ち合わせ協議

打ち合わせは、業務着手時より対面もしくはオンライン方式で月に1度以上は行うものとし、打ち合わせ時に受託者は打ち合わせ記録簿を作成し、打ち合わせ協議後、2週間以内に市に提出すること。

## 6 成果品

本業務における成果品は次のとおりとする。

- ア 福知山市エネルギー・環境基本計画 計画書 100 冊（100 頁程度）
- イ 福知山市エネルギー・環境基本計画 概要版 100 冊
- ウ 福知山市エネルギー・環境基本計画 チラシ 100 部
- エ 福知山市エネルギー・環境基本計画 資料編 1 部（キングファイル形式）
- オ 上記各成果品の電子データ CD-R 各 1 枚
- カ その他、業務に関連して収集・作成した資料で市が求める資料

※格納する電子データは、Microsoft Office とする。

※成果品となるデータを納品する際には、ウイルスチェック等必要な対策を実施した上で納品すること。

## 7 契約及び支払

福知山市財務規則に準ずる。

## 8 一般事項

- （１）この業務の受託者は、国等の環境行政や社会情勢の変化、関連計画、各種データ等との整合性を確保すること。
- （２）この業務について、その一部を第三者に委託することを認めるものとするが、業務全てを一括して第三者に委託することは認めない。
- （３）受託者は、業務開始にあたり、作業の詳細な実施内容や作業の進め方・方法、責任の考え方、役割分担、達成目標を本市に提案し、本市と協議の上、決定した内容を「業務実施計画書」としてまとめ、本市に提出することとする。
- （４）受託者は、常に監督員と密接な連絡をとりながら作業を進め、関係諸法令規則（例規、告示命令等含む。）に違反しないよう履行するとともに、履行上必要な関係官公庁、法人等に対する申請、届出等一切の手続きを遅滞なく行い、関係官公庁等との調整結果等について監督職員へ報告すること。また、本業務遂行にあたり発生した事故及び損害等については、受注者の負担とし、発注者は一切の責任を負わない。
- （５）各種会議や調整等に要する資機材等の諸費用や交通費等はすべて受託者の負担とする。
- （６）受託者は、業務完了後、成果品、業務完了届けを速やかに提出すること。成果品は、上記に記載するもの一式を添えて監督職員に提出するものとし、その成果品については、発注者の検査員による検査を受けなければならない。発注者の検査員による検査合格をもって業務完了とする。
- （７）成果品にかかる権利、使用その他一切は福知山市に帰属する。納品される成果品等提出物に第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合は、本市が特に使用を指示した場合を除き、受託者は当該著作物の使用に必要な経費の負担及び使用許諾契約に係る一切の手続きを行うこととする。

この場合、受託者は当該契約等の内容について事前に市の承諾を得ることとし、また、本市は既存著作物について当該許諾条件の範囲内で使用するものとする。

なお、本仕様書に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る利権侵害の紛争等が生じた場合には、当該紛争の原因が専ら本市の責に帰す場合を除き、受託者の責任及び負担において一切を処理することとする。

- (8) 受託者は、本業務の成果品（業務の過程で得られた記録等を含む。）を本市の許可なく第三者に閲覧、複写、貸与または譲渡してはならない。
- (9) 成果品その他必要書類の控えは受託者において5年間保存すること。
- (10) 本業務によって知り得た情報は福知山市個人情報保護条例に従い、データ管理及び機密の保持に努め、データの外部漏えい、滅失、損壊を防止すること。また、本業務の履行において取り扱う情報及び情報資産について、福知山市情報セキュリティポリシーに基づいて取り扱うこととする。
- (11) 本仕様書に定めのない事項が生じた場合は、市及び受託者の双方が協力し、業務が円滑に履行できるよう誠実に対応するものとする。

## 9 提出物

### (1) 契約締結後

項番	提出物	納品期限
1	着手届	契約締結後 10 日以内
2	業務実施計画書	契約締結後 10 日以内
3	その他本市との協議により決定した書類	協議の上決定

### (2) 業務完了時

項番	提出物	納品期限
1	業務完了届	履行期間内
2	成果品一式	履行期間内
3	その他本市との協議により決定した書類	履行期間内

以上

(別紙)

【参考】「福知山市エネルギー・環境アドバイザー業務（令和３年度）」 業務内容

※以下の業務内容に記載する「第３期福知山市環境基本計画」は、「（仮称）福知山市エネルギー・環境基本計画」に読み替えます。

業務内容

(１) 第３期福知山市環境基本計画（「福知山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を含む）策定に係る基礎調査

ア 既存資料の収集・整理

本市の関連計画や国・府の動向など、計画に反映すべき関連行政計画を整理するとともに、第３期計画に反映する必要がある環境データを収集・整理する。

イ 市民・事業者意見の収集

環境保全に関する意識や環境保全行動の状況を把握するため、郵送によるアンケート調査を行う。

＜調査対象及び業務実施者＞

本市にて無作為に抽出した市民及び事業所を対象とし、市民 3,000 名、事業所 150 社に発送する。

（有効回答目標数 市民 800 人 事業所 50 社）

業務内容	実施者
対象者の抽出	発注者（福知山市）
アンケート調査票の作成及び印刷	受注者
発信用封筒及び返信用封筒の作成及び印刷	受注者
宛名シールの作成	発注者（福知山市）
宛名シールの貼付	受注者
アンケート調査票等の封入、封緘及び発送	受注者
アンケート結果の集計、分析及び評価	受注者

ウ 温室効果ガス排出量の調査

本市域における温室効果ガス排出量の調査を行い、削減目標の検討を行う。具体的な算出方法や削減目標の検討方法（削減シミュレーション）は、環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル ver1.1（令和３年３月）」に準じて行うものとする。

エ 市民ワークショップの開催

市民の視点による本市の環境問題を明らかにし、計画の策定及び推進に向けた取組へ繋げていくために、市民ワークショップを開催する。

受注者は会議資料を作成するとともにコーディネーターとして運営の支援や必要なアドバイスを 実施の上、ワークショップでの意見等のとりまとめ、議事録の作成等を行う。

オ 環境関連施策・事業等調査

庁内の関係各課を対象に、環境関連施策・事業の実施状況や今後の予定、第 3 期計画に盛り込むべき内容等を聞き取るための調査をアンケート形式で行う。

カ 現行計画の評価

ア～ウの結果を踏まえ、現行計画の評価を行うとともに、第 3 期計画策定の方針を検討する。

キ 基礎調査報告書の作成

実施した基礎調査の結果を報告書として取りまとめる。

ク 計画内容の検討

基礎調査の結果を基に、第 3 期計画における環境像、環境施策、成果指標及び数値目標、推進体制等を検討する。

ケ 計画書素案の作成

上記の検討結果を踏まえ、環境基本計画素案の作成を行う。

コ 会議の運営支援

福知山市環境審議会等の運営支援として、資料の作成、議事録の作成等を行う。

サ 打ち合わせ・協議

発注者との打ち合わせ・協議は、随時実施するものとする。なお、業務の実施に際し、市と十分な連絡をとることとし、協議毎に協議簿を作成するものとする。

**(2) その他本市エネルギー関連施策に係るアドバイザー**

ア 福知山市エネルギー関連施策に関する相談についてのアドバイス・支援

イ 打ち合わせ・協議

発注者との打ち合わせ・協議は、随時実施するものとする。なお、業務の実施に際し、市と十分な連絡をとることとし、協議毎に協議簿を作成するものとする。

以上